

普及だより

ふじつ

第111号

発行・編集

杵藤農林事務所

藤津農業

振興センター

TEL0954-62-5221



シリーズ 58

複合経営発展を目指す 地域農業のホープ！

坂本 廉さん（36歳）

今回は、鹿島市音成地区でアスパラガスと露地温州ミカンの複合経営に取り組まれている坂本廉さんをご紹介します。

坂本さんは大学卒業後の5年間、福岡県で会社勤めをされた後、28歳の時に親元就農されました。就農後は4Hクラブでも活動され、令和4年からは新たに青年農業士として活動を開始されています。

アスパラガスについては、品質向上を目指し、新たな資材や品種を積極的に導入されているほか、「インスタグラム」等の情報ツールを活用し、全国の生産者の技術を意欲的に勉強されていま

す。将来的には食味だけでなく、見て美味しい品種構成を検討されており、今後の展開が楽しみです。

また、温州ミカンについては、地域のモデル的な栽培方法である「根域制限栽培」を導入され、高収益化を目指しながら、作業の効率化にも取り組まれています。

さらに他の生産者の園地を借受け栽培面積も拡大中です。若手農業者のリーダーとして順調に階段を上られている坂本さん。地域農業の活性化のために今後もさらなる活躍が期待されます。

藤津農業振興センター 活動方針

県では、「稼げる農業の確立」と「活力ある農村の実現」を目指し、「さが園芸888運動」をはじめとする各種施策を展開しています。当振興センターにおいても、「豊かな自然 磨き輝き次世代につなぐ 藤津の農業・農村」をスローガンに、「佐賀さいこう農業経営体育成プロジェクト」「さが園芸888運動プロジェクト」の県重点課題及び、9つの地域課題を設定し、管内農業のさらなる発展と農村地域の活性化に向けた普及活動に取り組んでまいります。

活動に当たっては、農家の皆さんや関係機関との連携が欠かせないことから、引き続き、御支援、御協力をお願いいたします。



センター長
川崎直樹

受賞おめでとうございます

令和4年度佐賀県果樹技術・経営コンクール 農林水産大臣賞 太良町 岩打末義氏・邦枝氏

令和4年度佐賀県果樹技術・経営コンクールの技術部門（品目：露地「不知火」）において太良町の岩打末義氏・邦枝氏が農林水産大臣賞を受賞されました。

岩打氏の園地では徹底した結実管理と敷きわらにより根群を維持することで連年安定生産されています。また、年内の袋掛けから始まり、収穫後の鮮度保持資材を活用した長期貯蔵を徹底することでカンキツの市場流通が少なくなる3月下旬～4月に高品質果実を出荷されています。

今回、これらの取組を夫婦二人三脚でなされている点が夫婦連名での表彰につながっており、今後も柑橘生産振興へのご活躍が一層期待されているところです。



藤津地区の4Hクラブ員がプロジェクト発表で九州大会へ!

令和4年度佐賀県農業青年冬季のつどいが2月10日（金）に鹿島市で開催されました。藤津地区代表としては、「プロジェクト発表の部」で、嬉野市塩田町の成松一司さん（キュウリ）が出席され、自身の農福連携による労働力確保の取組について発表されました。堂々とした発表で、成松さんは最優秀賞に輝き、7月に大分県で開催予定の「九州・沖縄地区青年農業者会議」で佐賀県代表として発表されることとなりました。

全国大会目指して頑張ってください!



佐賀県代表3名のうち写真中央が成松一司さん



地域トピックス

日本一の産地奪還に向けて、うれしの茶 手摘み会を開催

嬉野市のお茶農家 三根孝之さんの茶畑でうれしの茶 新茶の手摘み会が開催されました。「お茶摘みを体験してみたい」、「うれしの茶を応援したい」という一般参加者の他、地域のお茶農家仲間、関係者を含め総勢164名に参加していただきました。

ご協力ありがとうございました。

皆さん、丁寧に1芯2葉で摘み取られ、約70kgの美味しそうな新芽が収穫できました。

今回、手摘みしたお茶は10月に福岡県で開催される全国茶品評会に出点される予定です。

蒸し製玉緑茶部門での2年ぶりの産地賞及び10年ぶりの農林水産大臣賞の獲得に向けて、期待が高まります。

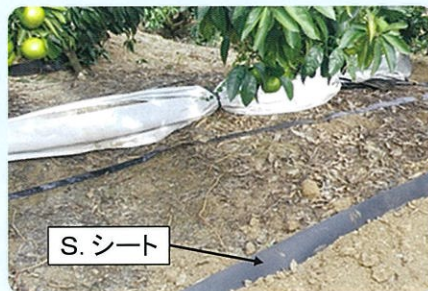


シールディング・マルチ栽培で高品質果実生産実証

藤津管内では、農研機構が開発したシールディング・マルチ栽培（以下S・マルチ栽培）の圃場を4カ所設置して高品質温州ミカンの安定生産の実証に取り組みました。

S・マルチ栽培は樹幹より1.6m程度の位置に55cm幅のS・シートを縦に埋め込み通路に根が広がらないように側面だけ根域を制限する栽培方法です。実証圃では通路をマルチ被覆せず、

果実品質を調査しましたが慣行マルチ栽培より糖度が高く酸については変わらない結果となり高品質化が確認されました。今後、マルチ栽培へS・マルチを導入することで、ブランドミカンの生産拡大が期待されます。



S・シート設置状況



S・マルチ栽培園結実状況

地域農業をリードするトップレベルの農業者育成プロジェクトを実施

県では、令和3年度から佐賀県農業をけん引するトップレベルの農業者を育成するため、意欲的に経営発展に取り組む農業者を5年間支援するプロジェクトに取り組んでいます。

藤津地域では、果樹をはじめ様々な品目から6戸の農家をモデルとしています。

茶では白川稔氏をモデルとし、うれしの茶生産技術向上と販路開拓の支援を行っています。

令和3、4年度は東北地方への販路開拓を行うとともに、視察先で得た情報を地域の農家や茶問屋にフィードバックし販路開拓について議論を深めました。プロジェクトを通じ、モデル農家の経営拡大と地域農業の発展に貢献できるよう引き続き尽力します。



東北地方の茶小売店舗との意見交換



地元農家等に対する結果のフィードバック



良質堆肥生産による耕畜連携推進

畜産農家において排せつ物の処理は大きな課題となっています。また、耕種農家においても肥料等の価格高騰により、家畜の堆肥利活用について推進が行われています。

令和4年度、約10年ぶりに佐賀県で堆肥コンクールが開催されました。堆肥利用拡大の契機とするため、藤津管内からも5件の優良堆肥生産農家が出品を行いました。出品堆肥はすべて良質堆肥であり、耕畜連携について輪の拡大につながりました。また、太良町の「風の牧場」が優秀賞を受賞され、これらを契機に良質堆肥のさらなる利用拡大を図っていきます。



募集案内

佐賀県農業大学校 令和6年度学生募集！！

明日の佐賀農業を担う人材の育成に取り組む佐賀県農業大学校では、佐賀農業の主要品目の栽培技術や経営、さらに加工、販売等を学べます。農業技術や知識を学ぶとともに、将来の仲間づくりも魅力的です。今年もオープンキャンパスが開催されます。

お問い合わせは、佐賀県農業大学校養成部
(TEL: 0952-45-2144)へ。

◎オープンキャンパス2023

- 【第1回】 令和5年7月2日(日)・・・申込期日:6月22日(木)
- 【第2回】 令和5年8月26日(土)・・・申込期日:8月10日(木)
- 内容:①学校紹介、②専攻での実習体験、③在校生との交流会など
- 参加費:無料

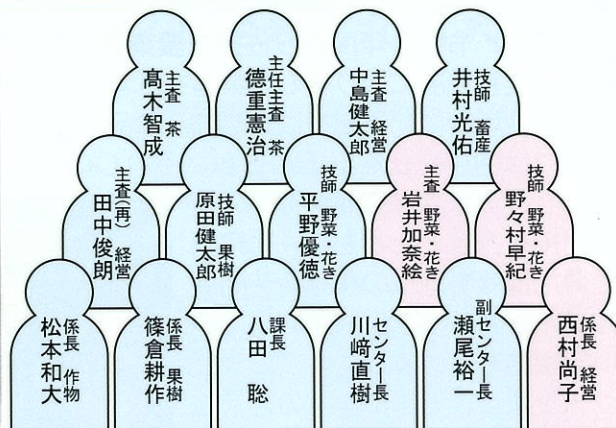
佐賀農大の詳細情報はここから

↓

農業大学校HP

メンバーが変わりました

令和5年度の普及指導員です。よろしくお願いします。



◎お世話になりました。 島センター長→農業技術防除センターへ 中山副センター長→退職
溝口主任主査→産休・育休 井上技師→畜産課へ